

1 基本情報

事業名称	西区自主防災活動支援事業				
事業目的	区民の防災意識及び地域防災力を高め、災害発生時にすべての区民の安全確保に寄与することを目的とする。				
事業概要	自分の命は自分で守る「自助」、近隣の人々や地域で助け合う「共助」の取組を促進し、区民の防災意識及び地域防災力を高める。				
実施主体	堺市西区自治連合協議会、堺市西区役所	実施場所	堺市西区内	実施時期	令和7年度

2 設定指標

活動指標	自主防災組織による訓練の実施数		R4	R5	R6	R7
		目標	14	14	14	14
		実績	7	10	17	16
成果指標	地区防災計画策定件数（策定率）西区分		R4	R5	R6	R7
		目標	14	14	14	14
		実績	10	11	12	12

3 事業評価

決算額 3,438,876 円

①妥当性	○	②費用対効果	○	⑤総合評価	○	評価基準
「自助」や「共助」の取組を促進することは災害発生時の区民の安全確保につながるため、事業を実施する妥当性がある。		区民と協働して取組を実施することで、各校区内でも自主的に活動が広がり、効率的に事業を実施できた。		自主防災委員会にて事業内容等について意見を募ることで、地域ニーズに合った事業の実施につながった。防災資機材の配備や校区単位の防災マップの作製支援等を実施し、地域防災力の向上に寄与した。		◎：非常に高い水準で達成 ○：十分な水準で達成 △：達成度が限定的 ×：達成されていない －：評価対象外
③庁内・公民等連携	○	④区の計画への寄与度	○			
区民が自主防災委員として参画し、事業内容の検討を担っている。また、自主防災訓練は地域が主体となり、行政が支援するかたちで連携して実施している。		地域での自主防災活動を支援を支援することは「西区みらい指針」の取組の方向性の一つ「安全・安心のまちをみんなで創る」に直結する取組となっている。				

4 課題と対応方針及び今後の方向性

課題	西区は南海トラフ巨大地震による津波や最大級の台風接近による高潮、特別警報級の大雨等による石津川氾濫の災害リスクが想定されており、区民の防災に対する意識向上と、隣近所や地域が一体となった「災害に強い地域づくり」が課題である。	今後の方向性	継続
対応方針	今後も地域の自主防災組織と行政が協働しながら、地域防災力の向上や区民の防災意識の向上に資するより効果的な取組を実施していく。		